学校番号	２０２

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	光村図書「美術３」						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・作品を鑑賞し、自らの感想、意見が発表できる能力をつける。
・風景画は、自分のねらいや意図を明確にすることが大切である。構図の取り方、表現方法や技法について工夫させ、個性豊かな表現を試みさせたい。
・作品を制作するときに計画性を持ち、限られた時間にアイデアをだし、作品を完成できる力をつける。生徒の希望や特性を生かし、長期間にわたる題材なども取り入れる。

２　学習の到達目標

・美術Ⅰ、Ⅱの２年間学んだものを、より創造性を高め、美的文化についての理解を深める。表現力をさらに磨き、個性を豊かに育み、能力をさらに高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 作品提出 ワークシート	観察 作品提出 ワークシート	観察 作品提出 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

1学期	基礎を見直そう	・デッサン基礎 球・立方体・円柱 瓶・ティッシュ箱 石膏像 ・水彩デッサン基礎		○ ○	 ○		b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:水彩絵具、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。	3　学習評価（評価規準と評価方法） 参照
2学期	水彩絵具で風景画を描こう	・鑑賞 ・風景画基礎 1点透視図法 画面の使用方法	 ○		 ○	○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	3　学習評価（評価規準と評価方法） 参照
3学期	油絵具で卒業制作をしよう	・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。	○ ○ ○	○ ○ ○			a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。	3　学習評価（評価規準と評価方法） 参照

※　表中の観点について　a:　美術への関心・意欲・態度　　b:　発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。